



けすぞう新聞

2022年12月発行
NO.60
播磨町消防団女性分団

雲ひとつない、絶好のフェスタびより

みんなのまちはみんなで守ろう—防災フェスタ2022—

2022年11月3日、加古川市の商業施設「アリオ加古川」(加古川市別府町)で開催された防災フェスタ2022に参加しました。4年ぶりのフェスタ、雲ひとつない晴天の中、たくさんの来場者で大賑わいでした。

会場は消火器体験・煙避難体験・高所活動車に乗るなどの「体験ゾーン」、消防車・兵庫県警の白いバイク・自衛隊車両などの「展示ゾーン」など、各種多彩。色々な方面から防火防災について参加し、学ぶことができるイベントでした。「メインステージ」での防災トークショーに続いて、防災啓発劇「住宅用火災警報器をつけよう～嫁姑編～」を披露しました。

ピンクヘアーにレッドスーツ
防災評論家 梶ケシ子(かじ けしこ)
はジャンプも踏まえて熱演。
『住宅用火災警報器』について
解りやすく解説しました。



高所活動車と 青空を背景に

会場と一体となって
〇×クイズ。

検定合格商標が
ついた製品を
購入しましょう。



住宅火災からいのちを守る住宅用火災警報器、設置をお願いします。

くす玉と奇跡の共演

防災劇のリハーサル中
くす玉割りもリハーサル。
本番では実現できない
偶然の共演です。

振り返り、今おもうこと

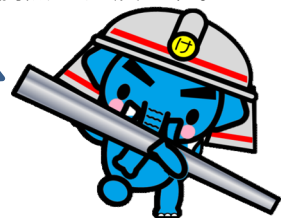
新型コロナウイルスの影響で様々なイベントや公演依頼が中止となり、防災啓発劇を届ける機会が激減しました。

当日参加される人数を踏まえ、感染予防・拡散防止に注意を払い、少人数での防災対策講座や紙芝居など適切な演目を話し合い、実演してきました。

今回、客席からたくさんの生の反応を感じることができ、改めて「やりがい」を感じています。

今回、心に残った方々、コメント

- ・リハーサルから〇×クイズに参加し、本番も意気揚々と〇×クイズに参加してくれた男の子
- ・「10年前に見た人が、まだ頑張っているのを見て、力をもらいました」とのお言葉
- ・最前列の皆さんの応援
- ・久しぶりに笑った(某女性消防団員の両親)「とても楽しかった」「懐かしかった」「みんな上手やね」



～あなたの地区の幼稚園・保育園・子供会・
サロンなどの公演依頼をお受けします～

お問合せ：播磨町企画総務部 危機管理課
(10月1日より部制となりました)
電話番号：079-435-0991